臺灣日日新報 昭和七年五月二十二日 (第二種郵便物認可) (昭和七年五月九日第三種郵便物認可) (第一万一千五百三十六號)

臺灣新民 日刊

五月二十一日

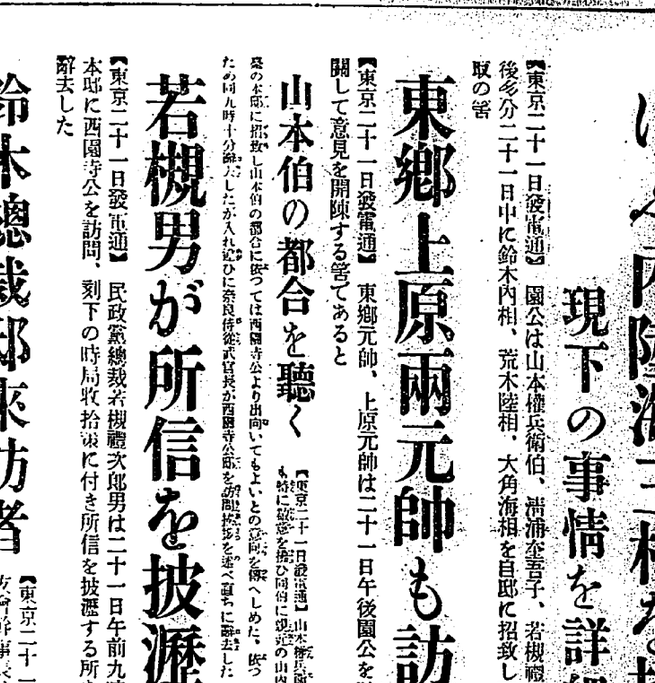
憲政擁護—軍紀肅正に
政友會敢然と起つか
有志代議士會強硬決議し
軍部と一戰を交へんと強調

【東京二十一日發電通】政友會は軍部の牽制に依つて後任內閣の奏詞が混濁し剰もすれば三百名の絕對多數黨を無視して超然內閣の出現を見んとする情勢にあるに鑑み政然起つて憲政の擁護と軍紀の肅正を天下に訴へんこするの聲鬱然こして擡頭し二十日の臨時大會に於ても山口幹事長より之を高唱したが更に二條亭に於ける新總裁招集後引續き有志代議士會を開いて決議を以て意思表示をなすと共に之が具體的運動方法に就て種々意見の交換をなした、有志代議士會に於ては尙愼重協議の上權威ある處置を執るべきであるこ言ふに一致し二十一日改めて有志代議士會を開き決議をもつて幹部に對し身命を賭して軍部こ一戰を交へ政黨政治を死守すべしこ迫るこ共に强硬なる意思表示をなす豫定である

超黨派的內閣說で
民政黨、岐路に立つ
少壯派は硬論、幹部は軟論

【東京二十一日發電通】民政黨は平沼或は山本權兵衛內閣出現說を前にして立つに至つた、即ち同黨の少壯派は場合に依つては政友會との提携も辭せず飽まで憲政擁護ファッショ排擊の強硬論を稱へ二十日丸の內會館に開かれた有志代議士會議論が出たに對し一方首腦部では尙自重し所謂擧國一致內閣出現の場合はその實體を見極めた上で態度を決せんとしてゐる、尙一部には後任首相の出樣如何では入閣の交涉に應じてもよいとの意向あるも、問題は政黨を無視して超然內閣を組織せんとする場合には斷然內閣を組織せんとする場合にあるが此際ファッショ內閣排擊を固守するか或はこの非常時なるため暫く隱忍自重するかの岐路に立つもので同黨幹部は緊張裡に時局の推移を靜觀中である

眠れるが如き
故犬養首相のデスマスク



滿洲のために倒れた憲政の巨星犬養首相の冥福を永遠に祈るため千代子夫人や健氏らの手によつて十六日午後七時デスマスクにとつた（首相はそのデスマスク）

園公重臣と會見後
けふ、內陸海二相を招致
現下の事情を詳細聽取

【東京二十一日發電通】園公は山本權兵衛伯、清浦奎吾子、若槻禮次郎男三重臣と會見後多分二十一日中に鈴木內相、荒木陸相、大角海相を自邸に招致し現下の事情を詳細聽取の筈

東郷上原兩元帥も訪問
【東京二十一日發電通】東郷元帥、上原元帥は二十一日午後園公を訪問して意見を開陳する筈であると

山本伯の都合を聽く
【東京二十一日發電通】山本權兵衛伯は大磯在なる西園寺公を訪問してもよいとの意向を傳へしめた、依つて山本伯の都合に依つては西園寺公より出向いてもよいとの意向あるも、特に秘密を保ひ何時に會見の山內一次氏を二十日午前九時駿河臺の同人時十分頃訪ひたが入れ違ひに奈良侍從武官長が西園寺公爵を訪問挨拶を述べ直ちに辭去した

若槻男が所信を披瀝
【東京二十一日發電通】民政黨總裁若槻禮次郎男は二十一日午前九時五十五分駿河臺の其邸に招聘した山本伯の都合に依つては西園寺公より出向いてもよいとの意向を傳へしめた、依つて山本伯の都合に依つては西園寺公より出向いてもよいとの意向あるも、特に秘密を保ひ何時に會見の山內一次氏を二十日午前九時駿河臺の同人時十分頃訪ひたが入れ違ひに奈良侍從武官長が西園寺公爵を訪問挨拶を述べ直ちに辭去した

鈴木總裁邸來訪者
【東京二十一日發電通】山口政友會幹事長は二十一日午前九時五十五分駿河臺の其邸に鈴木總裁を私邸に訪ひ本日の有志代議士會に付き意見を交換し九時半辭去した、同十時には旭山文相が來訪し鈴木總裁と政局善後策に付き懇談する所あつた

關稅調査會
南洋材の外
原案を可決

【東京二十一日發電通】關稅調査會は二十一日午前十時から開會、午前中後に於り關稅の據案通り可決して午後六時散會した、決定案は總體に於ては現行稅率を減少したるもの多く僅に數品目を增加したるに過ぎず、尙ほ本調査會は二十二

「國本」社の人々と
その思想及び背景（下）
轉落過程の一現象か

前記「國本」社の人々は、これからみても「國本」社が、いかに軍部方面に喰い入り、これを手玉にとつてるかが解る。×　×　×　加藤といひ、荒木といひ、現在の陸軍首腦部も、もつとも「國本」社的人々を有つてるる。

×　×　×　陸軍の荒木、眞崎、柳川、小磯、建川、四大中將の顧問は勿論、軍務局長、軍事課長、歩兵學校長、參謀本部第一部長、同第二部長、同第三部長、同第四部長、陸軍大學校長、同教官、陸軍省軍事課高級部員、同軍事調査部員、同新聞班員、參謀本部作戰課員、同編制課員、同運輸通信課員、同第二部支那班員、同第四部露西亞班員、陸軍省軍務局軍事課員、同軍務課員、同新聞班員、同兵務課員、同人事課員、同馬政課員、同經理局員、同法務局員、同醫務局員、同獸醫局員、同參與官、同副官、同主計官、同技術官、同技師、同屬官、同雇員、同傭人、同嘱託、同顧問、同教官、同教授、同研究員、同調査員、同技手、同書記、同通譯、同運轉手、同給仕、同看護婦、同小使、同守衛、同工夫、同人夫、同馬丁、同馬卒、同兵卒、同下士官、同准士官、同士官、同候補生、同學生、同生徒、同生徒監、同生徒隊附、同生徒隊長、同生徒隊長附、同生徒隊長代理、同生徒隊長心得、同生徒隊長補佐、同生徒隊長補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐、同生徒隊長補佐代理補佐心得、同生徒隊長補佐代理、同生徒隊長補佐代理心得、同生徒隊長補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理補佐代理

目薬界の王者

新案特許

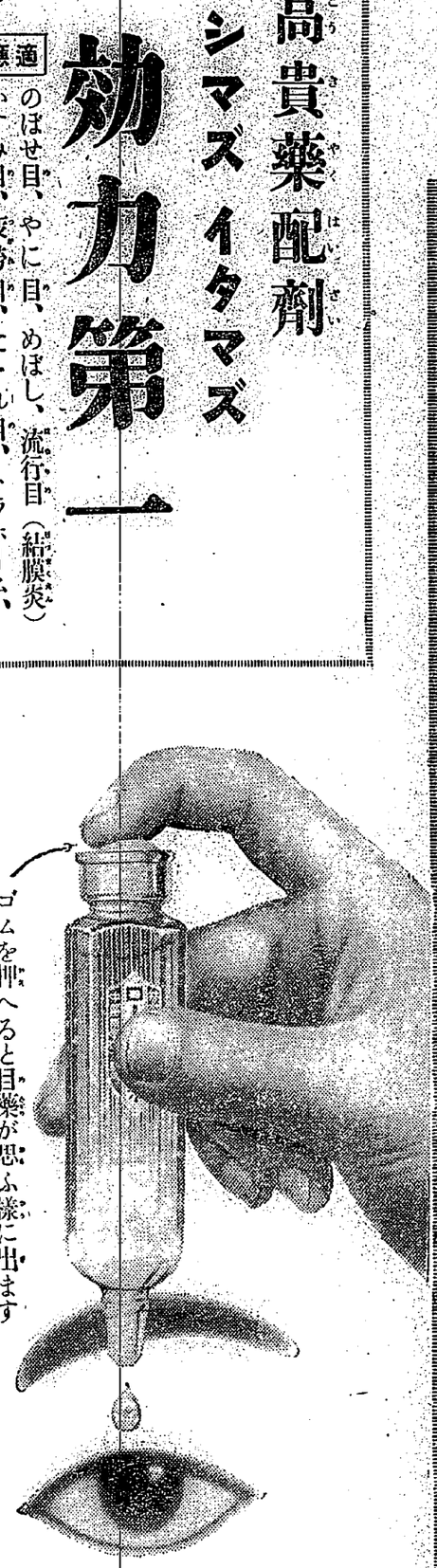
自働容器の

ロート

目薬

藥效の卓越と容器の優秀

世界に誇る目藥界の驚異！



新容器の效果

1 携帯に便利で使用法が簡單ですから、電車の中や仕事の傍ら或は夜分寢ながら點眼する時等特に便利です

2 容器の蓋が丸くなつて居ますから、お手柄方の點眼にも少しの危險もありません

3 容器の蓋（キヤツプ）を取つて、倒さにしても、顚倒しても決して目藥はこぼれません

4 容器の上部である點眼口の上部から徐々に滴る樣に作つてあるから一滴宛點眼出來ます

5 キヤツプがネジ止めになつて居ますから携帯中又は使用の際に目藥の漏出することがありません

6 使用後はポンプ式點眼口の如く、使用の際に目藥が無駄になりません

ロート目薬

何處でも手輕に使へて

たゞ一滴も無駄にならぬ

小兒には 小兒用ロート目藥 あり

十五歳以下の小兒のために特に留意して製したもので、シマズ、イタマズどんな小さなお子樣方にも安心して用ひる點が出來ます　常備 二十錢

我國最高の目藥工場

製品の完璧—價格の低廉

ロート目藥工場は我國最大、最高の目藥製造所であります。大規模にして優秀無比の設備の下に中尾藥學博士以下我が藥部員が最善を盡してその製產に從事せることは、處方の優越と相俟つてロート目藥の藥質の完璧を期する共に、又高度の生產合理化を行ひ、因て斯かる優秀品を、この低廉なる價格を以て提供し得る所以であります

日本一の ロート目藥工場

井上獨逸博士處方　中尾藥學博士指導

高貴藥配劑

シマズ　イタマズ

効力第一

適應症

のぼせ目、やに目、めばし、流行目（結膜炎）かすみ目、疲勞目、たゞれ目、トラホーム、凝目、曇り目、血目、突き目、屋目、麥粒腫等

處方の合理化—効力第一

手輕に用ひて、疾患を早く目に滴すといふことは家庭藥たる目藥の第一使命であります。防腐、殺菌は勿論、消炎、饐痛など眼病の治療に必要な諸作用を完全に具備せるを以て、何等他の藥液を以て眼を洗ふ手數を要せず、然も超スピードの藥效を有する近代的眼科藥であります

權威ある完全無缺の處方

ロート目藥は我が國眼科醫界の權威たる井上獨逸醫學博士が、多年東京眼科病院長として研究の結果になれる秘法を、藥學博士中尾万三先生指導の下に嚴製せるものにして醫學、藥學の兩方面より見て實に完全無缺の處方であります

眼を刺戟せず（シマズ、イタマズ）

ロート目藥は、特殊なる高貴藥の作用により、效果的確なるのみならず點眼して眼を刺戟せず（シマズ、イタマズ）點眼後「目の醒めたやうな快感」を覺えることはその一大特色であつて、こは眼疾治療上は勿論、又スポーツの前後或は讀書、記帳その他細かき仕事に從事する時等に用ひて最良の效果を收めます。

最大の信頼と日本一の販賣高

ロート目藥は現にその販賣高に於て斷然日本一たるの榮譽を保有して居ます。この事實はロート目藥が近代眼科藥として凡ゆる點に於て絶對に他品の追從を許さず、社會最大の信頼を博しつゝある何よりの證左として、吾人の總に誇りとする所であります。

在來品と

同一價格

定價	
大瓶	五十錢
中瓶	三十錢
小瓶	二十錢
小兒用	二十錢

小瓶（容量二十錢）の使用量—約 百滴

（註）一錢の使用數は六、七十滴以下でありますが本容器では一滴の無駄なく有效に使へます

◉全國何處の藥店にも販賣す

本舖　**山田安民藥房**

營業所　大阪市東區南久寶寺町

工場　大阪市東成區猪飼野町

漢文臺灣日日新報

關於時局提議兩論
謀安達富田兩氏復黨
民政有志代議士會

二十一日東京電。民政黨於二十日午後六時。在丸之內會館。開有志代議士會。先就時局問題。交換意見。一、非常時宜以集國一致內閣。匡救時局。二、務宜擁護政黨政治。有此二論。尚未成議。次以黨更生黨爲議題。而養際問題。就安達。富田兩氏復黨。字垣。大角入黨。交換意見。關宇垣氏之復黨。池田敬八氏謂時期尚早。勝田若。水氏。謂幹部有反對者。不必急爲。其他大勢贊成復黨說。結局安達。富田兩氏。宜使其早復黨。盤造黨內空氣。出席者全部爲委員。更開擴大有志代議士會。以圖復黨實現。開十一時散會。

若槻男訪園公

二十一日東京電。民政黨總裁若槻禮次郎男。二十一日午前九時五十五分。到駿河臺本邸。訪西園寺公。就對下時局收拾策。披瀝所信。

園公與重臣會見後
邀鈴木荒木大角二相
詳細聽取現下事情

二十一日東京電。園公與山本權兵衛伯。清浦奎吾子。若槻禮次郎男三重臣會見後。大約於二十一日中。將邀鈴木內相。荒木陸相。大角海相於自邸。詳細聽取現下事情。

二十二日午後
陸相將與園公會見

二十一日東京電。荒木陸相。竭誠元老善處。欲報告現下國情。並陸軍部意向。求見園公。二十日午後。豫定與公會見。因公有故。乃延期於二十一日。

東鄉上原兩元帥
廿一日訪園公

二十一日東京電。東鄉元帥上原元帥。二十一日午後訪問園公。開時局回避。略開懇意見。

憲兵無關
警視廳發表

二十一日東京電。今回不許事件。世稱憲兵亦有關係。警視廳乃於二十日。發表左記事情。否認其無關係。今回不祥事件。憲兵下士。雖有加入風說。然此係誤傳。實無其事。

白川司令官
病危輸血

二十一日東京電。二十日午後十時半。陸軍省著電。白川派遣軍司令官。二十日夕刻重態。作第三回輸血。

關稅調查會
南洋材以外
原案可決

二十一日東京電。關稅調查會。二十日午前十時開會。午前午後協議結果。南洋材關稅保留之外。全部照原案可決。午後六時散會。決定案爲國從稅之均衡。對於從量稅全般。

南總督巡視新竹
俟裝成帖後獻呈
民政有志代議士會

二十一日東京電。民政黨於二十日午後六時。在丸之內會館。開有志代議士會。先就時局問題。交換意見。一、非常時宜以集國一致內閣。匡救時局。二、務宜擁護政黨政治。有此二論。尚未成議。次以黨更生黨爲議題。而養際問題。就安達。富田兩氏復黨。字垣。大角入黨。交換意見。關宇垣氏之復黨。池田敬八氏謂時期尚早。勝田若。水氏。謂幹部有反對者。不必急爲。其他大勢贊成復黨說。結局安達。富田兩氏。宜使其早復黨。盤造黨內空氣。出席者全部爲委員。更開擴大有志代議士會。以圖復黨實現。開十一時散會。

若槻男訪園公

二十一日東京電。民政黨總裁若槻禮次郎男。二十一日午前九時五十五分。到駿河臺本邸。訪西園寺公。就對下時局收拾策。披瀝所信。

園公與重臣會見後
邀鈴木荒木大角二相
詳細聽取現下事情

二十一日東京電。園公與山本權兵衛伯。清浦奎吾子。若槻禮次郎男三重臣會見後。大約於二十一日中。將邀鈴木內相。荒木陸相。大角海相於自邸。詳細聽取現下事情。

東鄉上原兩元帥
廿一日訪園公

二十一日東京電。東鄉元帥上原元帥。二十一日午後訪問園公。開時局回避。略開懇意見。

憲兵無關
警視廳發表

二十一日東京電。今回不祥事件。世稱憲兵亦有關係。警視廳乃於二十日。發表左記事情。否認其無關係。今回不祥事件。憲兵下士。雖有加入風說。然此係誤傳。實無其事。

白川司令官
病危輸血

二十一日東京電。二十日午後十時半。陸軍省著電。白川派遣軍司令官。二十日夕刻重態。作第三回輸血。

關稅調查會
南洋材以外
原案可決

二十一日東京電。關稅調查會。二十日午前十時開會。午前午後協議結果。南洋材關稅保留之外。全部照原案可決。午後六時散會。決定案爲國從稅之均衡。對於從量稅全般。

南總督巡視新竹

竹社人士賦詩歡迎
俟裝成帖後獻呈

南總督。於四月十八九兩日。巡視新竹。總督能詩。故竹社人士。爭賦詩歡迎。總督亦步其韻。各裒成一編。云欲俟裝潢成帖後。獻呈總督。其詩錄左。

○　鄭神寶

天教石腳屬陽春。竹色巡行政日新。翁老猶思君國重。知公能識典墳人。無分畛域衷君望。誠隊棫樸富士身。竹石祖南化文雅。

○　李濟臣

旌節頻年展轉遷。南滅佳氣鬱葱葱。雨前澤潤龍潭活。風後香分兔窟空。四百萬民齊望重。知公能識典墳人。無分畛域衷君望。誠隊棫樸富士身。竹石祖南化文雅。

○　鄭神寶

遍聽聚歌耀南天。三月芳花也結緣。珍重雪山有破詐。人物熙和頌大平。御與振精神。共慶共樂總督。其詩錄左。

○　鄭香圃

十年伊始察輿情。乃老安邦冠前歲。一路編呈歌德政。萬家生佛頌升平。春無窮東澤溥棠蔭。

○　吳濟堂

惠化城。人民愛戴。心分不忍欺。風行草偃松篁。森雨無私甘棠從此遍四海。

○　陳信齋

龍飛欽聞指竹城。指點慶聖垂鳳綏。歸櫂鼓行雅教營。

○　陳信齋

雨換神晴。山川浩蕩春如許。人物熙和頌大平。御與振精神。共慶共樂總督。其詩錄左。

○　鄭香圃

勿剪甘棠到處同。

○　羅福南

觀風問俗遍南瀛。叫徹晶鐘玫。萬家生佛頌升平。春無窮東澤溥棠蔭。

○　吳濟堂

(一)　第六十三百五千一万一第　(日曜日)　臺灣日日新報　大正七年五月二十六日

婦人衛生相談

婦人衛生の代人

婦女界六月号

臺灣日日新報　日刊夕共二十三頁　一人一部五錢　一ヶ月前金拾五錢　一ヶ年前金壹圓五拾錢　一ヶ月金八拾錢　一ヶ年金九圓六拾錢　臺灣及支那ハ一ヶ月金壹圓　一ヶ年金拾貳圓　廣告料　一行十五字詰　一回金拾錢　一ヶ月金壹圓五拾錢　一ヶ年金拾五圓　一行增金拾錢　一ヶ月金貳圓　一ヶ年金貳拾圓　臺北新聞社　臺北新聞社　臺北新聞社

擧國一致ご憲政の本義
内外の重大事情を考へたい

一

今度の不祥事に關する世界の觀察は、大體において國際の眼を去ることは日本今後の内外施政ではないかとの點に一致してゐるやうだ。この點に於て支那の新聞紙上において動物的に騒しられてゐる關係であるが、兎に角對外的にも今回の事件は可なり頭のな反響を與へたらしく、その外國も先づ一應によつて公てられた社説に見てゐるやうに見られてゐる。

二

勿論に權謀をもつて對立してゐる日本であるから諸外國から如何に批評され如何に考へられても一向關はぬと言つて了へばソレ迄だが、然し現代の國際政治は苟もし世界の人と人との關係で成立たれてゐるやうな關係にあり、全然孤立的の國の單獨やお世話にはならぬといふ一人ぼつちは許され難い。例へば安全保障を始めとして通商條約を結んでゐたり、海外投資の上で主要事物の輸出等について考慮しなければならぬし、ロンドン條約、不戰條約等についてもその印刷、批准を交換してゐる以上その精神だけは尊守する國家的義務を負うてゐるのである。

三

況んや日本帝國の進らう發展は、正義に立脚し公明正大なる神聞としての世界輿論なる國民において結し、既に世界輿論をその高潮を呼び來つたものである。故に日本國民としては、義理を排し如何なる權力を以つても我が發展を阻止すべきである。隊に許人として深省を要し得ぬのは、現在の國際事件と今後の解決とが第一次的の國民の眼前に横ることなきを否である。滿洲事件については今日まで兎に角國民擧力一致して冷靜にして餘かなる歩調の下に善處して來た。之を公明なる日本の死力的解決と我が生命線の擁護に不合理なりとする者を、一朝にして排除せんとするは、右の國際の眼識に不合理的な分子が潜むとしても立憲政治の本質を傷くるものとの非難を如何ともし難いであらう。

四

四、五分今日の如き國非常時に當つては、單なる形式論のみを固執てはゐられないであらうが、政治は飽くまで眞理により條理を明かにして進まねばならぬものである。隊に世界を擧げての不況に言んでろる際、國民負擔の增加を見る様な事情にばかり陥いて行つても困る。故に國民は飽くまで現下の諸事件を大所高所より觀察し、苟くも國步を誤まる如き事なきを期さねばならぬ。吾人の眞情を有體に表明するならば、日本は國際破の外には出發點なる帝國に於て國軍隊に依つて一擧國の力を擧げて國軍隊に加へ、意思的であつてはならぬ。然しかと言つて軍隊又は軍部の名において國民は、決して軍隊に對して盲從的に從ふ國家ではない。吾人は明治大帝以來の隆々たる日本の國運に鑑み、全國民の一人ごとを眞實且つ次第である。

協力といふ事と憲政の根本義とに支障なきやう最善の努力の盡されんことを切望する。

重臣の意向全部を聽取
けふ園公から奉答か
大命降下は今夜か明日

【東京廿一日發電通】西園寺公は大角海相、東郷元帥と會見せば十九日入京以來十氏と會見する事となるが、山本伯とも二十二日會見する模様で、斯くて公は重臣の意向全部を聽取し公の善處意見を確立し、二十二日午後にも參内陛下に拜謁仰付られ、後繼内閣組織者を奉答するものと察せられ、從つて大命何れに降下するも二十二日晩若くは二十三日午前中にはこの事あるべしと觀測される

山本權兵衛伯說が濃厚
最大强力内閣を作るため
大命降下は今夜か明日

【東京廿一日發電通】西園寺公入京以來三日間、之まで に進言した重臣の意向は固より審かにするを得ないが、大體擧國一致的最大强力内閣を造る事が時局を收拾する最善の策たる旨を一致的に西園寺公に進言した模様で、國公としては刻下非常時に當りては憲政の常道を暫し封鎖せねばならぬ事を感得した譯である事疑ひの餘地がない、而して軍部方面は平沼内閣の出現を希望し居るやうなるも、刻下の時局を匡救する、最大强力内閣の出現あらずば平沼内閣にあらずば不可なりと信ずることは想像し得ざるべく、即ち山本權兵衛伯の如き元勳が出馬し一流人物を網羅し最大强力内閣を組織する以上之を歡迎するを得ざる事理の當然である、而して重臣も右の如き意見を懷く者多きため西園寺公も山本伯に翌望するとの觀測が强くなつた

大人物を主班として
其の下に政黨も包含
清浦伯園公に進言

【東京二十一日發電通】清浦伯は二十一日午後一時五十五分園公を訪問し政局收拾策に付き所信を披瀝し午後四時十二分辭去した

【東京二十一日發電通】清浦伯は二十一日午後一時三十分から擧國一致の最大强力内閣を造るの必要を力說し午後二時五十五分園公を訪ひ所信を披瀝した

【東京二十一日發電通】清浦伯は二十一日午後一時五十五分園公を訪問し政局收拾策に付き所信を披瀝し午後四時十二分辭去した

立憲政治下では既成政黨を無視することが急務である、元にはどうしても擧國一致内閣を力說し、その首班には黨外の大人物を求めその下に既成政黨をも包含した眞の擧國一致内閣を組織すべしとの意見を述べた模様である、尚ほ清浦伯は二十二日午前十時より本部に幹事會を召集し種々會見の際の經過を報告する筈

擧國一致内閣を主張
上原元帥、園公を訪ねて
清浦伯園公に進言

【東京二十一日發電通】上原元帥は二十一日午後五時から約一時間に亘り荒木陸相その他陸軍首腦部と懇談した

既成政黨に依る内閣の出現はこの際擧國一致内閣の樹立を阻害するより外に途なしと軍の立場と政治の運用に關し所信を披瀝し午後四時十二分辭去した

【東京二十一日發電通】上原元帥は午後四時十分園公邸を訪ひ公邸にて暫く會見し既往に入つたが、晩餐をも共にした、尚ほ元帥は二十二日午後五時半頃軍省に出頭荒木陸相その他陸軍首腦部と懇談した

暫らく事態を靜觀
政友會幹事會の結果決定
政友會の前途を一部で憂慮

【東京二十一日發電通】政友會は二十一日午後一時より本部に有力代議士を聽いて決議文を天下に發表する筈であつたが、尚ほ此際強ひて軍部内閣の出現を希望し居るやうなるも、刻下の時局を匡救する最大强力内閣の出現あらずば平沼内閣にあらずと信ずることは想像し得ざるべく、即ち山本權兵衛伯の如き元勳が出馬し一流人物を網羅し最大强力内閣を組織する以上之を歡迎するを得ざる事理の當然である、而して重臣も右の如き意見を懷く者多きため西園寺公も山本伯に翌望するとの觀測が强くなつた

鈴木總裁と森官長
意見を異にした模様
政友會の前途を一部で憂慮

【東京二十一日發電通】政友會は國家と政黨政治確立のため既往起つて國民と共に軍紀の確正をなすべしとの聲が黨内に强く擧つて、時局收拾に關する決議文を發表する筈であつたが、尚ほ此際強ひて軍部内閣の出現を希望し居るやうなるも、刻下の時局を匡救する最大强力内閣の出現あらずば平沼内閣にあらずと信ずることは想像し得ざるべく、即ち山本權兵衛伯の如き元勳が出馬し一流人物を網羅し最大强力内閣を組織する以上之を歡迎するを得ざる事理の當然である、而して重臣も右の如き意見を懷く者多きため西園寺公も山本伯に翌望するとの觀測が强くなつた

【東京二十一日發電通】二十日夜千葉縣一宮の別邸から歸京した上原元帥は二十一日午後三時二十分西園寺公を訪ひ、不時事件の眞相を報告し、その經過については軍の統制に關しては勿論なきやう努めてゐるが不安なきものと思はれる、併し事件の根源たる政友會幹部の態度に對しては軍の統制と政局と重大關係あるため非常に憤慨の模様を示し、尚ほ内閣書記官長は協力内閣說につき鈴木政友總裁と意見を異にし部の間に憂慮されてゐる

陸相も園公に招かる
けふ午前中に
目鼻がつかう

【東京二十一日發電通】荒木陸相は西園寺公に招かれて二十一日午後七時五十分公を訪問し、今回の不祥事件並に後繼内閣に對する陸軍部内の意向を詳述午後八時四十五分辭去した

東郷元帥はけふ園公訪問
重臣の意見區々で
園公奉答に困難の模様

【東京二十一日發電通】荒木陸相は二十一日午後十時、大角海相は二十一日午前九時、牧野内府は二十二日午前九時半夫々西園寺公を訪問し、時局收拾に關し公の善處意見を聽取し、二十二日午後にも參内陛下に拜謁仰付られ、後繼内閣組織者を奉答するものと察せられ、從つて大命何れに降下するも二十二日晩若くは二十三日午前中にはこの事あるべしと觀測される

【東京二十一日發電通】西園寺公は非常時局に際し重臣の意向を聽取し後繼内閣に對する奉答を決定せしめ慣例の見地より政友會の總裁たる政友會幹部と鈴木總裁との會見は之を避け重臣の意見を述べた後に會見することとなつた

【東京二十一日發電通】荒木陸相は二十一日午後十時、大角海相は二十一日午前九時、牧野内府は二十二日午前九時半夫々西園寺公を訪問し、時局收拾に關し公の善處意見を聽取し、二十二日午後にも參内陛下に拜謁仰付られ、後繼内閣組織者を奉答するものと察せられ、從つて大命何れに降下するも二十二日晩若くは二十三日午前中にはこの事あるべしと觀測される

議會政治を擁護
兩院議員と評議員聯合會で
民政黨が態度闡明

【東京二十一日發電通】政友會は二十一日午後一時より本部に有力代議士を聽いて決議文を天下に發表する筈であつたが、尚ほ此際強ひて軍部内閣の出現を希望し居るやうなるも、刻下の時局を匡救する最大强力内閣の出現あらずば平沼内閣にあらずと信ずることは想像し得ざるべく、即ち山本權兵衛伯の如き元勳が出馬し一流人物を網羅し最大强力内閣を組織する以上之を歡迎するを得ざる事理の當然である、而して重臣も右の如き意見を懷く者多きため西園寺公も山本伯に翌望するとの觀測が强くなつた

【東京二十一日發電通】政友會は國家と政黨政治確立のため既往起つて國民と共に軍紀の確正をなすべしとの聲が黨内に强く擧つて、時局收拾に關する

密會の現場を取押へ
姦夫を縛した上撲殺！
桃園八塊庄拂曉の慘劇
犯人は竹藪に潛伏中を逮捕

【新竹出張】新竹州桃園郡八塊庄小六番三四二（姓名不詳）の妻（二）は夫（四八）の留守に乘じて同庄八二番（三）と情交關係あり本夫歸宅せば殺害せんと迄脅迫し居たるが、去る十日午前四時頃姦夫某（三）が來訪するや、之を現場を取押へんと注意中廿日午前四時頃姦夫某が歸り方に際會しある所を發見取押へて縛り上げ、腹立まぎれに臺車の後押棒で頭部を殴打したる爲遂に午前五時半頃死亡したが犯人は其後一時逃走を企圖したるも遂に發見逮捕の上桃園署に檢擧取調べられた

夜汽車專門の怪盜捕はる

【臺中電話】カフエー太陽窄の女給某（二）は二十日晩窄の客某から前借を申込まれてくれる樣泣付かれつもりたいし帳場に出合つてもらひたいと帳場に出合つてもらひたいと帳場に戻り同日午後一時頃同店の二階に於て剃刀にて自己の咽喉部を數回切斷して自殺を企てたが發見者あり直ちに病院に收容手當を加へたが重傷にて危篤狀態にあるが自殺の動機は目下取調中である

カフエー太陽の女給 ルリハを嚥下自殺す
身受けされるご警察に屆けて

【臺中電話】カフエー太陽窄の女給某（二）は二十日晩窄の客某から前借を申込まれてくれる樣泣付かれつもりたいし帳場に出合つてもらひたいと帳場に戻り同日午後一時頃同店の二階に於て剃刀にて自己の咽喉部を數回切斷して自殺を企てたが發見者あり直ちに病院に收容手當を加へたが重傷にて危篤狀態にあるが自殺の動機は目下取調中である

【臺中電話】臺北市榮町一丁目某會社員某（三）は二十日晩臺北市内榊町某藝妓屋に登樓し同妓と遊興中同妓が他の客に呼ばれて席を立つや同人の留守中に同妓の部屋に入り込み同妓の所持品中より金品を物色中同妓が歸り來つたので發見され同人は直ちに逃走したが同妓は直ちに警察に屆出たので同人は二十一日午前十時頃臺北署に檢擧されたが同人は竹藪に潛伏中を逮捕されたものである

臺南州郡守 市尹會議
來月中旬頃か

【臺南電話】臺南州郡守の管内會議は例年の如く二十日新廳舍に於て開催の豫定であつたが其の後の都合上來月上旬に延期することとなつた

臺中鄉軍の 勅諭奉讀式

【臺中電話】臺中在鄉軍人分會は來る二十七日陸軍記念日に勅諭奉讀式を行ふと

市營クリーニング 商賣大繁盛

【臺中電話】臺中市營クリーニング所は開所以來滿一ヶ年を經過したが其の成績は驚異の好成績にて來る廿四日迄に滿一ヶ年となるので之が記念として一割の割引を實施する事となつた

花蓮港農補 第一期工事竣成し
二十一日盛大に落成式

【花蓮港電話】花蓮港農業補習學校は既報の通り本年から二部制に改正され、一部は新學年から實習部として農場に專心實習に當り、二部は午前中學科を教授する事となつたが其の他の施設に關しては目下鋭意計畫中であるが、同校では今回一千餘圓を投じて校舍の增築を爲し、又從來の農場は狹隘なるを以て今回一千餘圓を投じて新に農場を擴張する事となつた

花蓮港農補 第一期工事竣成し
二十一日盛大に落成式

【花蓮港電話】花蓮港農業補習學校は既報の通り本年から二部制に改正され、一部は新學年から實習部として農場に專心實習に當り、二部は午前中學科を教授する事となつたが其の他の施設に關しては目下鋭意計畫中であるが、同校では今回一千餘圓を投じて校舍の增築を爲し、又從來の農場は狹隘なるを以て今回一千餘圓を投じて新に農場を擴張する事となつた

【花蓮港電話】花蓮港廳下各街庄役場にては今回一般民衆に對し時局認識の徹底を圖る爲め今般庄主事會議を開催するか自餘の他三百餘圓の豫算を見たので二十一日盛大に落成式を擧行する筈

臺中市の 海軍記念日

【臺中電話】臺中市は來る二十七日の海軍記念日當日官民合同で祝賀會を開催する筈となつたが場所は公會堂で時刻は二十七日午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

海軍無害所 祝賀會

【高雄電話】高雄市三塊厝海軍無線電信所では二十七日の海軍記念日當日、午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

研究會

基隆郡庄治

基隆郡下各庄助役は二十日午後一時より同郡役所に於て三庄（金山、三芝、石門）聯合協議會を開催したが、其の主なる協議事項は左の通り

一、庄協議會會議錄署名者指定時期方法に關する件
一、農會會員に關する文書の取扱方の件
一、特別關係の文書に對する代決の件
一、農事改良增殖獎勵及の成果を擧げ農民にも多額の補助を與へ、庄長の權限を擴張する件
一、農事に關する組合費の減額方法如何
一、庄長職務支給規程改正の件

臺南州郡守 市尹會議
來月中旬頃か

【臺南電話】臺南州郡守の管内會議は例年の如く二十日新廳舍に於て開催の豫定であつたが其の後の都合上來月上旬に延期することとなつた

潮州二人斬り 犯人一名を逮捕
主犯蘇明治は行方不明

【臺南電話】臺南州潮州郡内萬丹庄萬惠農場の農夫某（三）は二十一日潮州へ出張せられたが、其の留守中同農場の水牛數頭を竊取せられたので、同農場にては直ちに警察に屆出でたるが、同日午後二時頃同庄内の某雜貨店に於て同庄の某（二）と同庄の某（二）とが酒を飲んで居る處へ同庄の某（二）が來り兩人に對し突然短刀を以て刺殺し逃走したので、同庄の某（二）は直ちに警察に屆出でたるが、同日午後四時頃同庄内の某竹藪に潛伏中を逮捕されたが、主犯蘇明治は行方不明である

高雄魚市で 優勝旗授與

【高雄電話】高雄魚市會社では漁業關係の農林水產業の水揚高をあげた漁場を根據とする漁船を大體、中、小型、モーターの三種に分ち、夫々に對し優勝旗を授與することとなつたが、其の第一回として昭和六年度の漁獲高に對し、去る十四日午後四時より水產組合會議室に於て關係者出席の上授與式を擧行したが、其の順位は左の通りである

△中型、小型　鹽埕第九千五百五十五號乃至第九千九百五十四號乃至第九千九百五十五號乃至第九千九百五十六號
△モーター　鹽埕第九千八百九十二號乃至第九千八百九十三號
△大型　第三、八九八號乃至第八千八百二十三號
△漁具部門　第八千八百二十三號乃至第八千八百二十四號

臺南聯隊 百五十八名除隊

【臺南電話】臺南步兵第聯隊の昭和六年度に於ける現役兵の除隊は左の通り

一、庄協議會會議錄署名者指定時期方法に關する件
一、農會會員に關する文書の取扱方の件
一、特別關係の文書に對する代決の件
一、庄長職務支給規程改正の件

臺北の ローマ 嘉義で暴れる

【臺北電話】臺北市榮町一ノ三三番地一號臺灣作業所不定休業（二）及び臺北市西門町六四〇番地四號巫金（さ）の營業組合は二十日午前一時頃臺北市内西門町三ノ二〇番地營業場所に於て主人に向ひ暴行中、臨檢の警官に發見されたが、同人は警官に對し暴行を加へたので警官は同人を現行犯として取調べの上、六月一日午前六時十分發嘉義驛發列車にて嘉義へ護送された

基隆郡庄治 研究會

基隆郡下庄治研究會は二十日午後一時より同郡役所に於て三庄（金山、三芝、石門）聯合協議會を開催したが、其の主なる協議事項は左の通りである

一、庄協議會會議錄署名者指定時期方法に關する件
一、農會會員に關する文書の取扱方の件
一、特別關係の文書に對する代決の件
一、庄長職務支給規程改正の件
一、農事に關する組合費の減額方法如何
一、庄長職務支給規程改正の件

花蓮港農補 第一期工事竣成し
二十一日盛大に落成式

【花蓮港電話】花蓮港農業補習學校は既報の通り本年から二部制に改正され、一部は新學年から實習部として農場に專心實習に當り、二部は午前中學科を教授する事となつたが其の他の施設に關しては目下鋭意計畫中であるが、同校では今回一千餘圓を投じて校舍の增築を爲し、又從來の農場は狹隘なるを以て今回一千餘圓を投じて新に農場を擴張する事となつた

臺中市の 海軍記念日

【臺中電話】臺中市は來る二十七日の海軍記念日當日官民合同で祝賀會を開催する筈となつたが場所は公會堂で時刻は二十七日午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

海軍無害所 祝賀會

【高雄電話】高雄市三塊厝海軍無線電信所では二十七日の海軍記念日當日、午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

臺中鄉軍の 勅諭奉讀式

【臺中電話】臺中在鄉軍人分會は來る二十七日陸軍記念日に勅諭奉讀式を行ふと

市營クリーニング 商賣大繁盛

【臺中電話】臺中市營クリーニング所は開所以來滿一ヶ年を經過したが其の成績は驚異の好成績にて來る廿四日迄に滿一ヶ年となるので之が記念として一割の割引を實施する事となつた

桃園埤圳第二號 隧道通水竣功

【新竹出張】桃園埤圳第二號隧道は二十四日竣功通水の豫であつたが、我從業行で工事を急ぎ二十二日正午から二百餘の通水を行ひ所

登校途中臺車に觸れ 學童無殘の轢死
臺車苦力は目下取調中

【新竹出張】新竹州新埔庄新埔公學校一年生（七）は二學期の始業式に登校途中臺車に觸れ轢死したが、加害苦力は二十二日新竹署に於て取調べ中

三庄庭球大會

二十二日午前九時から、下角分教

神戸に本據を置くモヒ 大密輸入團檢擧
首魁は臺中の藥種商
關係者三十餘名に達す

【臺中電話】モヒの密輸及び密賣の容疑者として過般來臺中署の檢舉、つたモヒ密輸の元兇は新竹市の藥種商業である事が判明、當局に於ては嚴重取調べの結果昨日の夜から今朝に掛け臺中に出張取調べの結果昨日の夜から今朝に掛け臺中署に於て主犯者外三名の他關係者三十餘名を檢擧取調べの上、其の内主犯者は神戸市海岸通りに住みモヒの密輸を業としてゐる陳某で小包みで五グラム入りのモヒ數百を臺灣に送り臺中には鹽埕町の木田某方に送り同人は之を受取つて居たが、其の一部は臺中市内、同州郡その他數箇所の藥種商から大量の註文を引受けつゝある等を方面に關からぬ噂宣を與へて居る點から今日まで

臺中市の 海軍記念日

【臺中電話】臺中市は來る二十七日の海軍記念日當日官民合同で祝賀會を開催する筈となつたが場所は公會堂で時刻は二十七日午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

海軍無害所 祝賀會

【高雄電話】高雄市三塊厝海軍無線電信所では二十七日の海軍記念日當日、午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

臺中鄉軍の 勅諭奉讀式

【臺中電話】臺中在鄉軍人分會は來る二十七日陸軍記念日に勅諭奉讀式を行ふと

市營クリーニング 商賣大繁盛

【臺中電話】臺中市營クリーニング所は開所以來滿一ヶ年を經過したが其の成績は驚異の好成績にて來る廿四日迄に滿一ヶ年となるので之が記念として一割の割引を實施する事となつた

桃園埤圳第二號 隧道通水竣功

【新竹出張】桃園埤圳第二號隧道は二十四日竣功通水の豫であつたが、我從業行で工事を急ぎ二十二日正午から二百餘の通水を行ひ所

登校途中臺車に觸れ 學童無殘の轢死
臺車苦力は目下取調中

【新竹出張】新竹州新埔庄新埔公學校一年生（七）は二學期の始業式に登校途中臺車に觸れ轢死したが、加害苦力は二十二日新竹署に於て取調べ中

三庄庭球大會

二十二日午前九時から、下角分教

神戸に本據を置くモヒ 大密輸入團檢擧
首魁は臺中の藥種商
關係者三十餘名に達す

【臺中電話】モヒの密輸及び密賣の容疑者として過般來臺中署の檢舉、つたモヒ密輸の元兇は新竹市の藥種商業である事が判明、當局に於ては嚴重取調べの結果昨日の夜から今朝に掛け臺中署に於て主犯者外三名の他關係者三十餘名を檢擧取調べの上、其の内主犯者は神戸市海岸通りに住みモヒの密輸を業としてゐる陳某で小包みで五グラム入りのモヒ數百を臺灣に送り臺中には鹽埕町の木田某方に送り同人は之を受取つて居たが、其の一部は臺中市内、同州郡その他數箇所の藥種商から大量の註文を引受けつゝある等を方面に關からぬ噂宣を與へて居る點から今日まで

臺中市の 海軍記念日

【臺中電話】臺中市は來る二十七日の海軍記念日當日官民合同で祝賀會を開催する筈となつたが場所は公會堂で時刻は二十七日午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

海軍無害所 祝賀會

【高雄電話】高雄市三塊厝海軍無線電信所では二十七日の海軍記念日當日、午後六時より官民を招待して祝賀會を開催すると

臺中鄉軍の 勅諭奉讀式

【臺中電話】臺中在鄉軍人分會は來る二十七日陸軍記念日に勅諭奉讀式を行ふと

市營クリーニング 商賣大繁盛

【臺中電話】臺中市營クリーニング所は開所以來滿一ヶ年を經過したが其の成績は驚異の好成績にて來る廿四日迄に滿一ヶ年となるので之が記念として一割の割引を實施する事となつた

桃園埤圳第二號 隧道通水竣功

【新竹出張】桃園埤圳第二號隧道は二十四日竣功通水の豫であつたが、我從業行で工事を急ぎ二十二日正午から二百餘の通水を行ひ所

登校途中臺車に觸れ 學童無殘の轢死
臺車苦力は目下取調中

【新竹出張】新竹州新埔庄新埔公學校一年生（七）は二學期の始業式に登校途中臺車に觸れ轢死したが、加害苦力は二十二日新竹署に於て取調べ中

三庄庭球大會

二十二日午前九時から、下角分教

神戸に本據を置くモヒ 大密輸入團檢擧
首魁は臺中の藥種商
關係者三十餘名に達す

【臺中電話】モヒの密輸及び密賣の容疑者として過般來臺中署の檢舉、つたモヒ密輸の元兇は新竹市の藥種商業である事が判明、當局に於ては嚴重取調べの結果昨日の夜から今朝に掛け臺中署に於て主犯者外三名の他關係者三十餘名を檢擧取調べの上、其の内主犯者は神戸市海岸通りに住みモヒの密輸を業としてゐる陳某で小包みで五グラム入りのモヒ數百を臺灣に送り臺中には鹽埕町の木田某方に送り同人は之を受取つて居たが、其の一部は臺中市内、同州郡その他數箇所の藥種商から大量の註文を引受けつゝある等を方面に關からぬ噂宣を與へて居る點から今日まで

十圓贋造紙幣事件
高雄州にも飛火か
兩州刑事課長重要打合せ

【臺南電話】臺南州下で發見した十圓贋造紙幣に關し臺南州刑事課長は二十日午前九時半頃臺南署に出頭し同署刑事課長と協議を凝らしたが、其の結果高雄州警察部に於ても同樣贋造紙幣が發見されたので、臺南州警察部に於ても同樣贋造紙幣が發見されたので、臺南州警察部に於ても同樣贋造紙幣が發見されたので、臺南

ラヂオ版

今日の番組

五月二十二日(日)　J・F・A・K

午前の部

【八・〇〇】聲の福音(今日のお天氣のお知らせ)臺北測候所發表、高砂麥酒株式會社提供

【八・一〇】國歌・マルレーネ・アイトリンヒ二、奈爾王の主題歌・マックス・シュメリング三番はこれで出陣兵・カウフマン管絃樂團四、フーピーの主題歌・エデイー・カンター五、キューバの戀歌の主題歌・ローレンス・ティベット

【九・〇〇】氣象通報(臺南のみ)

【九・〇五】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【十・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・二、お

【十一・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・三、

【十二・〇〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

午後の部

【〇・一〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【一・〇〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・四、

【一・三〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【二・〇〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【二・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・五、

【三・〇〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【三・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・六、

【四・〇〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【四・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・七、

【五・〇〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【五・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・八、

【六・〇〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【六・三〇】子供の時間(JFAK子供係擔當)

【六・四〇】講話(婦人)(野球)(昭和七年春季聯盟戰OB團野球試合第二回戰・臺北・圓山野球場より)

【七・〇〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・九、

【七・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十、

夜間の部

【七・〇〇】講話(婦人)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十一、

【七・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十二、

【八・〇〇】講話(婦人)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十三、

【八・三〇】管絃樂(臺北)

【九・〇〇】講話(婦人)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十四、

【九・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十五、

【十・〇〇】講話(婦人)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十六、

【十・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十七、

【十一・〇〇】講話(婦人)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十八、

【十一・三〇】國歌(臺北)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・十九、

【十二・〇〇】講話(婦人)「國の宗」のうち臺北・圓山の部・二十、

管絃樂(臺北)

【午後八時一五分より】

JFAK管絃樂團

指揮　一條恒三郎

一、歌劇「兵士の婦人」序曲　德國西のポルデイウ(一七七五―一八三四)の作になる三幕の歌劇の序曲である、通俗的な作曲として現在でも盛んに演奏されてゐるもので伊太利歌劇の序曲としては異色的なものである

二、管絃樂「ラヴィナ」(一八一八―一九〇六)の作曲、歌劇はピアノ獨奏曲であつたが後歌劇用に編曲したものである、ラヴィナは特に有數なピアノ曲を主としたサロン音樂の作曲者である

三、歌劇「ノルマ」(一八〇二―一八三五)伊太利のベリーニの作になるもの、此の歌劇は全體として悲劇的なもので伊太利歌劇の序曲としても異色的なものである

四、ワンステップ「ラーピー」アメリカの黒人作曲家カウフマンの作曲、歌劇やなに關する

新米は買ひ下れ

大正十四年以来の豊作に

田舎も都会も大喜び

新米移住地

「満洲」

夏に入つて好況

色めく海運界

鉄い解荷役

困つたなあ

林友庄

産業の三巨頭

新米の顔を見たら

値切つて買ひたい

期米買建の傾向

折角きつぱれた

産糖生減

前限すると豆は増えた

サルベージ・ウーマス

折角きつぱれた

産糖生減

前限すると豆は増えた

中旅部の

未業改良会

北満米

大の努力に

新米移住地

「満洲」

夏に入つて好況

色めく海運界

鉄い解荷役

困つたなあ

林友庄

産業の三巨頭

新米の顔を見たら

値切つて買ひたい

期米買建の傾向

折角きつぱれた

産糖生減

前限すると豆は増えた

サルベージ・ウーマス

折角きつぱれた

産糖生減

前限すると豆は増えた

中旅部の

未業改良会

北満米

大の努力に

利配金
利配金

獨立の準備着々進む

國立委員任命に積極的意欲

陳溥賢の野心と李氏一族の不満

前途多難の廣東獨立

（廣東本社電話特派員發）

比律賓獨立問題（一）

水産業一大飛躍

比島を調査して歸つた

（キャプション）【マニラ特電四日發】比島を訪問したケソン・ヒル・ケソン大統領夫人（前列中央）一行（前列右から二人目が大統領）

滿洲國の貨幣制度（三）

幣原を廻めぐる駈引

社說

時事解說

事業と人

文藝と科學

今日の問題

仲小舌庵の時局放談

巴里に見る日本風景

美しき者よ！

美しき者よ！

明るい部屋に

美しき者よ！

美しき者よ！

美しき者よ！

共婚問題の解決——戸籍法實施に決す

相續關係に手心を加へて

勅令案を能澤課長が作製

（東京支局二十一日發本社特電）多年懸案となつてゐた共婚問題は從來の立案を拋棄し、内地の戸籍法を臺灣にも實施することとなつたが、これが勅令案は目下能澤課長の手許で作製中で、その内容は相續關係に多少手心を加へたものであるらしい

敵の拳銃を奪ひ壯烈な自殺を遂ぐ

愛國五號機の一中尉

【ハルピン二十一日發電通】去る三月二十日方正縣で行方不明となつた愛國五號機關士○○○中尉は、石田驅逐艦長に對し、方正よりニ粁に墜落せる機體のピストル少數を拾ひ歸れる旨を報告した後、自殺を遂げた

聯盟調査團 新京に向ふ

【ハルピン二十一日發電通】聯盟調査團は日滿當局合同宴會の後、大連發特別列車にて二十一日午前七時十分新京に向つた

旅券の査證 露國が拒絶 調査團の露領通過

【モスクワ二十日發電通】聯盟調査團一行は滿洲里より露領チタに入り無關税通過したがプラニチエンスクに出で其處より松花江を經て滿洲に至り○○○の本部を訪問すべく露國の査證を求めたが、ソビエット外交部は之を拒絶した

故犬養首相の 初七日法要

【東京二十一日發電通】故犬養首相の初七日を迎へた今二十一日は午前十時から官邸日本間で嚴しき警戒の裡に上野寛永寺徳川家霊廟大猷院殿の法要を營み、午後一時より芝增上寺安國殿に於ける大法要に參列した

武藤教育總監に 有難き御詔

進退伺に對して 其儀に及ばずと

【東京二十一日發電通】武藤教育總監は二日參内、天皇陛下に謁を賜ひ、進退伺に對し「其儀に及ばず」との有難き御詔を賜はつた、武藤總監は感激の餘り拜謝の言葉も出ず暫く御前に平伏してゐたが、やがて感激の面持ちで退出した

白川軍司令官の 病勢見直す

又も三十瓦を輸血

【上海二十一日發電通】白川軍司令官の病勢は十二日頃から稍々重態であるが、廿一日頃より小康を保つて居る本國駐在の第四師團の軍醫三十名ヲ急遽派遣することゝなつた

◇

【上海二十一日發電通】白川軍司令官の病勢擴大に對し、廿一日頃は絶對安靜を要する關係上、廿一日頃より絶對謝絶に在り、從つて家族にも二週間を經ざれば面會でなければ輸血不可能であるが、廿一日頃より小康を保つて居る本國駐在の第四師團の軍醫三十名ヲ急遽派遣することゝなつた

◇

【上海二十一日發電通】白川軍司令官の病勢擴大に對し、廿一日頃は絶對安靜を要する關係上、廿一日頃より絶對謝絶に在り、從つて家族にも二週間を經ざれば面會でなければ輸血不可能であるが、廿一日頃より小康を保つて居る本國駐在の第四師團の軍醫三十名ヲ急遽派遣することゝなつた

重光公使良好

村井總領事退院

【上海二十一日發電通】重光公使は二週間の絶對安靜を要する關係上、廿一日頃より絶對謝絶に在り、從つて家族にも二週間を經ざれば面會でなければ輸血不可能であるが、廿一日頃より小康を保つて居る本國駐在の第四師團の軍醫三十名ヲ急遽派遣することゝなつた

◇

漢文臺灣日日新報

重臣意見紛々不一
廿一日園公難以奉答

二十一日東京電。西園寺公自事件勃發。卽伯察。東京政局。一方使近衞公。蒐集情報。俟情勢洋觀。後乃上京。然近衞公於十八日。聞軍部與鈴木政友首腦部。協解成立。乃訪西園寺公。公乃入京。其翌朝。鈴木總裁尙來訪解。西園寺公爲此情報所誤。後知形勢變大。欲提政局歸趨。二十日乃邀鈴木侍從長。高橋陸軍首相。倉富樞府議長。牧野內府等。懇取意見。然重臣之意見及進言。未必一致。

一、平沼騏一郎男。與軍部關係雖佳。然議會政黨政治發達之今日。果得除外政黨而行之耶。

一、使山本權兵衞伯出馬。政民兩黨總裁入閣。自擧擧其他第一流人物。組織擧國一致內閣。皆不發哉。

一、如今日財界危機時。使高橋是淸氏加黨。爲一無所屬政治家。組織內閣。擧國天下人材。作擧國一致內閣。

一、刻下急務。在平息軍部激發之感情。此際使平沼男組織內閣如何。諸意見之外。亦有齊藤實子說。而對於目下最有力之平沼男。有反對者。西園寺公。懸以疑隙。故二十一日中。西園寺公之參內奏答。尙屬困難也。

平沼或山本內閣說
民政黨有硬軟兩論

二十一日東京電。平沼或山本權兵衞內閣出現說興。民政黨已至重大飯路。卽同黨少壯派。或與政友會提携。亦所不辭。唱目下流行語之排擊。遮二無三擁護強硬論。二十日在充之內會館。有志代議士會。此議論一出。各團部尙欲自重。所謂舉國一致內閣出現時。俟觀其實體。然後決定態度。又一部謂與後任首相。人物如何。與其人閣又沙汰可。而問題在乎無視政黨欲組織超然內閣。此際欲防內閣排擊。或於此非常時。暫時隱忍自重。至此破路。同黨幹部緊張。靜觀時局推移。

奉答稍遲
乃不得已

若槻總裁談

二十一日東京電。政友會幹部。二十一日午前十一時半辭去。會見後鈴木總裁曰。軍部方面全不知。今後惟以國公之意決之。其心情可察。余尙未擬與國公會見。有謂與森官長意見不同。當無其事。余當如何之假定問題。不能確答。到其時乃決之可也。

鈴木總裁邸
早朝訪客

二十一日東京電。山口政友會幹事長。二十一日午前九時。訪鈴木總裁於私邸。就本日有志代議士會交換意見。九時半辭去。同十時鳩山文相來訪。與鈴木總裁。談政局善後策。

鈴木內相
宜負事件責任

二十一日東京電。民政黨前代議士團體。二十日會。二十一日午前十時。在大阪開前代議士會。出席者八十餘名。決議鈴木內相宜負今回帝都不祥事件責任。

山之內氏
復命於園公

二十一東京電。山之內一次氏。奉西園寺公之命。至逗子別邸。訪齋藤實子。有所懇談。又齋藤子。按二十三日上京。

信賴元老
勿刺戟軍部
政友會靜觀

二十一日東京電。政友會爲憲政擁護。政黨確立。樹然顯也。與國民協正軍紀。此說當局協頗。

二十一日午後一時。本部開有志代議會。按歷明決議文於天下。經黨內以此際強刺戟軍部。實使時局亂。望可靜觀善處之且信元老。當不使多年政黨政治崩壞。且最近軍部首腦部。不强反對鈴木總裁大體。諒解已成。此際無高唱憲政擁護之要。山口幹事長二十一日午前時召集幹事會。於本部種種交換意見。決定。暫時靜觀事態推移。於是乃中止有志代議士會。

奉答稍遲
乃不得已

若槻總裁談

二十一日東京電。平沼或山本權兵衞內閣出現說興。民政黨已至重大飯路。卽同黨少壯派。或與政友會提携。亦所不辭。唱目下流行語之排擊。遮二無三擁護強硬論。二十日在充之內會館。有志代議士會。此議論一出。各團部尙欲自重。所謂舉國一致內閣出現時。俟觀其實體。然後決定態度。又一部謂與後任首相。人物如何。與其人閣又沙汰可。而問題在乎無視政黨欲組織超然內閣。此際欲防內閣排擊。或於此非常時。暫時隱忍自重。至此破路。同黨幹部緊張。靜觀時局推移。

余意中惟單獨內閣
鈴木總裁談

二十一日東京電。政友會岡崎跡間。二十一日午前十一時半辭去。會見後鈴木總裁曰。軍部方面全不知。今後惟以國公之意決之。其心情可察。余尙未擬與國公會見。有謂與森官長意見不同。當無其事。余當如何之假定問題。不能確答。到其時乃決之可也。

鈴木總裁邸
早朝訪客

二十一日東京電。山口政友會幹事長。二十一日午前九時。訪鈴木總裁於私邸。就本日有志代議士會交換意見。九時半辭去。同十時鳩山文相來訪。與鈴木總裁。談政局善後策。

鈴木內相
宜負事件責任

二十一日東京電。民政黨前代議士團體。二十日會。二十一日午前十時。在大阪開前代議士會。出席者八十餘名。決議鈴木內相宜負今回帝都不祥事件責任。

山之內氏
復命於園公

二十一東京電。山之內一次氏。奉西園寺公之命。

余意中惟單獨內閣
鈴木總裁談

二十一日東京電。政友會岡崎跡間。二十一日午前十一時半辭去。會見後鈴木總裁曰。軍部方面全不知。今後惟以國公之意決之。其心情可察。余尙未擬與國公會見。有謂與森官長意見不同。當無其事。余當如何之假定問題。不能確答。到其時乃決之可也。

平沼或山本內閣說
民政黨有硬軟兩論

二十一日東京電。平沼或山本權兵衞內閣出現說興。民政黨已至重大飯路。卽同黨少壯派。或與政友會提携。亦所不辭。唱目下流行語之排擊。遮二無三擁護強硬論。二十日在充之內會館。有志代議士會。此議論一出。各團部尙欲自重。所謂舉國一致內閣出現時。俟觀其實體。然後決定態度。又一部謂與後任首相。人物如何。與其人閣又沙汰可。而問題在乎無視政黨欲組織超然內閣。此際欲防內閣排擊。或於此非常時。暫時隱忍自重。至此破路。同黨幹部緊張。靜觀時局推移。

海軍記念日
講演中止
為對岸警備

馬公要港部。當年於海軍紀念日。派遣軍艦於基隆高雄。在島內各地。舉海事講演。然本年。因對岸警備。遂行中止云。

平塚長官
廿四日上京

臨時議會。照所豫定。二十五日開會。至政局安定休會。平塚長官。照豫定爲政府委員。搭二十四日便船上京。按六月十七日始政記念日歸臺。

芭蕉入旺盛期
市價較昂

芭蕉昨今入出貨旺盛期。然本年因一月初。寒氣低降。生育較遲。出貨減去較之前年。市價高昂。三月中。內地出貨。與前年比較減之。卽六年數量二三、〇四二箇。價格九二、七六五圓。七年數量一三、三九〇箇。價格六一、六二三圓。本年較昨年。數量減一九、

擁護憲政肅正軍紀
政友會欲訴諸天下

二十一日東京電。政友會鑒於軍部牽制。後繼內閣奏請遲延。動搖無視三百名。絕對多數黨。而組超然內閣。因欲擁護憲政。訴諸天下。此際浪費於擡頭。二十日於臨時大會。山口幹事長說明之。更於三役亭新總裁招宴後。開有志代議士會。以決議表示意思。具體的運動方法。種々交換意見。而有志代議士會。猶重臨。或。作有權威之處置。二十一日。於開有志代議士會。以決議對於幹部。隣身命欲與帝都一戰。死守政黨政治。將表示强硬意思。

時評

○

此間政界各方面。不無暗中飛躍者。昨今所傳。曰高橋內閣。曰山本內閣。曰鈴木內閣。曰平沼內閣。曰牟田口內閣。一浪費國幣減。雷雨蒼生。皆可免。

○

本島產業。醬斯發。人物不景氣。振興困難。山間若干。交人謀劃。當局亦要。

○

國步艱難。時局重大。西園寺公。未敢輕易奏答。

○

經濟一番苦況。當局當業政策。與當業者。時改善。

○

古人有言。一言興邦。一言喪邦。公之所處。關係至大。訂當時策。以左右政局。而重臨。或。作有權威之處置。二十一日。於開有志代議士會。以決議對於幹部。隣身命欲與帝都一戰。死守政黨政治。將表示强硬意思。

○

或稍迂緩。其不爲魚矣。吾不信也。

○

三角帽人。陳英生。年十九。桑窮鬼官。衙及其他外。

信賴元老
勿刺戟軍部
政友會靜觀

二十一日東京電。政友會爲憲政擁護。政黨確立。樹然顯也。與國民協正軍紀。此說當局協頗。

二十一日午後一時。本部開有志代議會。按歷明決議文於天下。經黨內以此際強刺戟軍部。實使時局亂。望可靜觀善處之且信元老。當不使多年政黨政治崩壞。且最近軍部首腦部。不强反對鈴木總裁大體。諒解已成。此際無高唱憲政擁護之要。山口幹事長二十一日午前時召集幹事會。於本部種種交換意見。決定。暫時靜觀事態推移。於是乃中止有志代議士會。

帝大理農部
來廿二日公開
多貴重資料乘合車增發

臺北帝國大學。理農學部。實驗設備。訂本二十二日曜日午前九時起。至同四時之間公開。使一般觀覽。是日供覽之標本。機械。實驗設備等甚多。其科目別如左。

一、園藝。育種及關各種作物標本。

一、關於農業經濟及政策等之參考資料。

一、農產製造。關物理化學之各種實驗設備。

一、地質。礦物化石標本及各種標本及實驗設備。

一、動物。關動物之各種標本及實驗設備。

一、植物病理。

一、說明人類與細菌關係資料。

其他有科學知識等之貴重參考資料甚多。又是日觀覽者。宣向各門受付。領取公室。聽取報告。都治概況。併諸問各係長所。辦理事務。正午。對一同訓示後。歸去。是夜在苗栗一泊。翌二十一日早。赴大湖郡。聽取郡治。報告郡治概況。併諸問各係長所。辦理事務。正午。對一同訓示後。歸去。是夜在苗栗一泊。翌二十一日早。赴大湖郡。聽取郡治。報告郡治概況。

奉答稍遲
乃不得已

若槻總裁談

二十一日東京電。平沼或山本權兵衞內閣出現說興。民政黨已至重大飯路。卽同黨少壯派。或與政友會提携。亦所不辭。唱目下流行語之排擊。遮二無三擁護強硬論。二十日在充之內會館。有志代議士會。此議論一出。各團部尙欲自重。所謂舉國一致內閣出現時。俟觀其實體。然後決定態度。又一部謂與後任首相。人物如何。與其人閣又沙汰可。而問題在乎無視政黨欲組織超然內閣。此際欲防內閣排擊。或於此非常時。暫時隱忍自重。至此破路。同黨幹部緊張。靜觀時局推移。

交通總長
視察高雄

堀田交通局總長。去二十日午前八時八分。抵高雄。在縣福客寓少憩後。參拜高雄神社。次訪問州廳及市役所。並觀察港內。後巡視所管官廳。晚宿壽山下鄰守。報告郡治。翌二十一日午前九時十三分發。北上到車路墘。暫裡。二崁店。新莊。到高橋私邸。訪山本權兵衞伯。二十一日午後一時三十五分。再訪駿河臺西園寺公。復山本伯對園公之回答。爲此山本伯與西園寺公之會見。二十一日中將宮現云。

民政黨二氏
晤其總裁

二十一日東京電。民政黨於近衞總裁訪問園公之先。

製糖完廊二十
未完工場十六
阿緱工場延長至六月歟

據總督府特產課調查。至二十日晚對當局。報出製糖完廊者。新式製糖工場。各工場。又本州原料豐富。臺南市臺町二丁目陳淡。西北合併。有現款數百圓。由社員退香。遠保管。年可收利息四十圓。最多者。則中社。當有土地百餘甲。家屋二座。其由來。聞自有清時代。該社員俱具有相當勢力。一週地方發生事件。除一部訴諸官外。餘成歸中社辦理。所得報酬。豈充社產。故多也。臺灣歸帝國版圖。土地調查。中社之運。事實盛出爲申告。數將八十餘甲。變作已有。現存案主奉權書。祇願山郡仁武庄竹仔門五甲餘。新化郡新市庄筆九甲餘。新化郡新市庄

殖產局工業
磋商會

殖產局。與臺中州廳。諸計畫。二十日午前十時。再於二十日午前十時。在殖產局。開工業磋商會。殖產局。局長。須田商工。西村鑛務。松岡特產。其他係官。中研有志。加福工業部。長中澤技師等出席。就本年度事業。並八年。應事業。已如前報。其事業。其人爲市內若竹町二丁目七番地。寫眞館雇人榊本一郎。年十七。因細故受主人叱責。而遂明煙兒自殺云。

八甲鐵路門
轢死者

爲寫眞館雇人

去十九日午後九時過。市內八甲町鐵路門。布內地人青年。轢死其間一師。其追討數次者。彼終不肯交遞。昭和二年。臺樓書院。又被編爲末版町道路。此殊屬反對。聞內容殊複雜。將來或至涉訟亦未可知云。

交通總長
視察高雄

堀田交通局總長。去二十日午前八時八分。抵高雄。在縣福客寓少憩後。參拜高雄神社。次訪問州廳及市役所。並觀察港內。後巡視所管官廳。晚宿壽山下鄰守。報告郡治。翌二十一日午前九時十三分發。北上到車路墘。暫裡。二崁店。新莊。

臺灣茶業危機岌々
北部產地經濟界大打擊
根本破壞急宜講究對策

每季占二分一之烏龍州茶葛。遂爲廢業。影響所及。景市。市價暴落。比不特。本年成績。茶業失敗來。第一關鍵。不可收拾矣。督局當局。最近編定產業政策大綱。以資振興。於未來。而既放唯一輸出業。理無坐視其凋論於現在。然或慫慂柔劣。斷。應無豫算。不如大正九年實收腐敗矣。或農林省。即綿慣安定補償法。救濟生絲業者。或他應策。恐發災之危機。遂至於爆發而不可收拾矣。當局乎。應急之策。永遠之法。二者皆不容或緩也。

臺灣唯一大宗出口貨之茶業。二三年來。消費鳥龍茶之美名。各國市場。爲紅茶獨擅。寢寢而上。消費包種茶之南洋各島市場。如爪哇則爲土產市價大敗。支那則爲土產市價大敗。印度錫蘭。日增月加。吸收支那。新嘉坡。安南。邏羅。暹羅。則爲華僑根固。激烈。土人雖漸嗜好。無人經手。實貿茶況。山間失收。然以登三角帽人。陳英生。年十九。桑窮鬼官。衙及其他外。

臺灣茶業危機岌々
北部產地經濟界大打擊
根本破壞急宜講究對策

每季占二分一之烏龍州茶葛。遂爲廢業。影響所及。景市。市價暴落。比不特。本年成績。茶業失敗來。第一關鍵。不可收拾矣。督局當局。最近編定產業政策大綱。以資振興。於未來。而既放唯一輸出業。理無坐視其凋論於現在。然或慫慂柔劣。斷。應無豫算。不如大正九年實收腐敗矣。或農林省。即綿慣安定補償法。救濟生絲業者。或他應策。恐發災之危機。遂至於爆發而不可收拾矣。當局乎。應急之策。永遠之法。二者皆不容或緩也。

自前年來。或今春來。廢耕轉業者。雖未統計。爲數洽繁。此不特。本年成績。一時不佳茶業根本。更整永遠破壞。與係絕大。臺北州茶戶一萬二千八百戶。而一萬九千四百甲。新竹州。茶戶七千六百戶。而積二萬六十甲。且所廢耕及所交關。更僕難數。而今而後。欲求無大變動者。殆不可得。況目下兩州山村農村大多數茶戶。尙有悲慘不堪設法救濟者。況經濟界。資金之已告之人。收支莫償。特大。況本島人。惟一耕有爲伙。倉莫穫。作製造。輸出業者。大敗之後。於地方經濟財政。打擊爲千。根本成俊。破壞。再被北習刑事課扣住。突問。套五圓衣。貨金屬類等。

嘉義
女子見學

京都平安女學院生徒二十一名。由阜山發。引率。去十七日午後四時四十六分。來嘉。見學市內各處。翌十八日午後二時半。搭車北上云。

築體操場

嘉義中學校用天體操場。決定新築。日前在州廳。舊施工事。請負入札。木造建物一百二十坪。以五千二百五十圓。被市內木村繁太郎落札。決定。近日興工。九月中旬完成。

新設會社

市內有志者。目下籌設東洋通產株式會社。專以介紹內地及臺灣物產。並設陳列場於元街役場地址。資本金五萬圓。分爲千株。第一回拂八四分二。現株主募集中云。

郡內務部長
巡視苗大兩郡

爲新任巡視。去二十日早。抵苗栗受。池田郡守。河本庶務課長等迎接。入郡守公室。聽取報告。郡治概況。併諸問各係長所。辦理事務。正午。對一同訓示後。歸去。是夜在苗栗一泊。翌二十一日早。赴大湖郡。聽取郡治。報告郡治概況。

竊外套雨衣
贓品還失主

既報七星郡士林庄社子守。

煙小視察

彰化煙草小賣人。一團四十三名。爲考察東京專賣業務狀況。于月十九日出發。往復豫定六日間。卽十

彰化
警長來巡

臺中州阪口警部長。於月二十日午前八時。驅自動車。到彰化廳。港地方巡視。是日九時。受街之官民堵列迎接。入衙。觀非後。由秋山警察課長。導往巡閱各重要地方。畢往鹿港。分室巡視。午後四時歸中。

竊取鍋釜
吸食阿片

臺北市。蓬萊町。百二十七番地李泉。年六十五。住所。不定。竊盜前科等收入。每日吸食一匁五分阿片。當局乃拘之往取調。自白。於大正町。御成町。表町。本町。京町等民家灶中。竊取鍋釜。以充爲阿片購買代金。現正由南署。嚴爲查究云。

嘉義
女子見學

京都平安女學院生徒二十一名。由阜山發。引率。去十七日午後四時四十六分。來嘉。見學市內各處。翌十八日午後二時半。搭車北上云。

築體操場

嘉義中學校用天體操場。決定新築。日前在州廳。舊施工事。請負入札。木造建物一百二十坪。以五千二百五十圓。被市內木村繁太郎落札。決定。近日興工。九月中旬完成。

新設會社

市內有志者。目下籌設東洋通產株式會社。專以介紹內地及臺灣物產。並設陳列場於元街役場地址。資本金五萬圓。分爲千株。第一回拂八四分二。現株主募集中云。

郡內務部長
巡視苗大兩郡

爲新任巡視。去二十日早。抵苗栗受。池田郡守。河本庶務課長等迎接。入郡守公室。聽取報告。郡治概況。併諸問各係長所。辦理事務。正午。對一同訓示後。歸去。是夜在苗栗一泊。翌二十一日早。赴大湖郡。聽取郡治。報告郡治概況。

竊外套雨衣
贓品還失主

既報七星郡士林庄社子守。

煙小視察

彰化煙草小賣人。一團四十三名。爲考察東京專賣業務狀況。于月十九日出發。往復豫定六日間。卽十

彰化
警長來巡

臺中州阪口警部長。於月二十日午前八時。驅自動車。到彰化廳。港地方巡視。是日九時。受街之官民堵列迎接。入衙。觀非後。由秋山警察課長。導往巡閱各重要地方。畢往鹿港。分室巡視。午後四時歸中。

芭蕉入旺盛期
市價較昂

芭蕉昨今入出貨旺盛期。然本年因一月初。寒氣低降。生育較遲。出貨減去較之前年。市價高昂。三月中。內地出貨。與前年比較減之。卽六年數量二三、〇四二箇。價格九二、七六五圓。七年數量一三、三九〇箇。價格六一、六二三圓。本年較昨年。數量減一九、

擁護憲政肅正軍紀
政友會欲訴諸天下

二十一日東京電。政友會鑒於軍部牽制。後繼內閣奏請遲延。動搖無視三百名。絕對多數黨。而組超然內閣。因欲擁護憲政。訴諸天下。此際浪費於擡頭。二十日於臨時大會。山口幹事長說明之。更於三役亭新總裁招宴後。開有志代議士會。以決議表示意思。具體的運動方法。種々交換意見。而有志代議士會。猶重臨。或。作有權威之處置。二十一日。於開有志代議士會。以決議對於幹部。隣身命欲與帝都一戰。死守政黨政治。將表示强硬意思。

時評

○

此間政界各方面。不無暗中飛躍者。昨今所傳。曰高橋內閣。曰山本內閣。曰鈴木內閣。曰平沼內閣。曰牟田口內閣。一浪費國幣減。雷雨蒼生。皆可免。

○

本島產業。醬斯發。人物不景氣。振興困難。山間若干。交人謀劃。當局亦要。

○

國步艱難。時局重大。西園寺公。未敢輕易奏答。

○

經濟一番苦況。當局當業政策。與當業者。時改善。

○

古人有言。一言興邦。一言喪邦。公之所處。關係至大。訂當時策。以左右政局。而重臨。或。作有權威之處置。二十一日。於開有志代議士會。以決議對於幹部。隣身命欲與帝都一戰。死守政黨政治。將表示强硬意思。

○

或稍迂緩。其不爲魚矣。吾不信也。

○

三角帽人。陳英生。年十九。桑窮鬼官。衙及其他外。

炊烟起處
炊烟起處正我味の素活動之時
盍觀人家厨房豈有墨守舊慣
而不用味の素者乎
あぢの素
登錄商標
宮內省御用達　味の素本舗　鈴木商店
近有假貨頗多
請認明眞商標
5—33

旅館
漢文臺日案內
復日旅館

夜。泊臺北。二十二日。泊臺北。二十三日。泊花蓮港。二十四日。泊新北投。二十五日。歸臺。

日の難遭相首堂木養犬故

々人たけ付馳に邸官相首

臺灣日日新報 附錄
昭和十年七月廿五日
第六千三百五十一號一部
郵便物認可
定價壹圓 入梅編集發行
所行發
即卓市北々
社報新日日臺々
本附錄は本紙に再錄せず

(1)最近の故大養首相（寫眞は去る五月十二日天主公教會に於ける佛大統領弔祭式參列の際の最近のもの）

(2)犬養首相の重態により畏き邊りより御差遣あらせられた德大寺侍從長の大首相令息健氏（芳澤外相）

(3)高橋臨時首相辭表捧呈に參內（寫眞は官邸より參內する高橋臨時首相）

(4)犬養首相重態の報により急き和服で首相官邸に馳せつけた荒木陸相

(5)襲撃直後の首相官邸前の混亂

(6)牧野侍從御差遣畏き邊りでは犬養首相の凶變をいたまれ十六日午後三時天皇陛下の勅使として牧野內府を又皇后皇太后陛下に於かせられてもそれ〳〵犬養首相を弔問あらせられた（寫眞は退出の牧野勅使）

(7)臨時閣議の爲首相官邸に著いた鈴木內相

(8)首相官邸に馳せつけた大角海相

亂混の後件事彈爆ためしせ駭震を都帝

帝都警護の總本部警視廳玄關前——爆彈投下直後の情景（寫眞の一）

(1)宛ら戰場——(2)憲兵隊の大活動（大手町憲兵本部にて）(3)首相官邸に馳せ付けたトラックの警官隊

(4)立會中止を發表した東株前の群衆 ×

(5)犬養首相の喪を發表する森書記官長 ×

(6)三田牧野內府邸前における混雜 ×

(7)警視廳にて暴漢のピストルの爲め負傷せる讀賣新聞記者高橋巍氏 ×

(8)弔問の岩槻民政黨總裁